

午後 試験

全問に共通して、問題文を十分理解した上で、設問で要求されている事項に適合した論述をすることが重要である。

問 1 (情報技術を活用した労働生産性向上のための新たな業務モデルの定義について) は、これまで経験したプロジェクトを紹介することを通して、労働生産性向上を実現する情報技術を活用した新たな業務モデルの定義を具体的に論述したものが多かった。しかし、業務の見直しでの工夫と、生産性向上を実現する業務モデルをどのように定義したかを具体的に論述したものは少なかった。

問 2 (情報システム導入の際の業務革新を支援するチェンジマネジメントについて) は、業務革新としてシェアードサービスや ERP 導入に伴う大型のものから比較的小規模なものまで、多岐にわたる具体的な論述が多かった。本問では、業務革新を支援するチェンジマネジメントについての論述を期待したが、業務革新のプロセスやシステム導入の解説に終始したものが散見された。

問 3 (システム化全体計画の策定について) は、中長期的システム化全体計画として、すべての個別システム化案件を全体的にとらえて、効率が良く、効果的なシステム化全体計画を策定する工夫の論述を期待したが、多くが個別システム化計画にとどまり、システム化全体計画に及ぶものが少なかった。また、システム化全体計画であっても、システム化の実現方法や開発体制などの具体的な計画内容まで踏み込んだ論述を期待したが、案件の絞り込みに終始しているものが散見された。